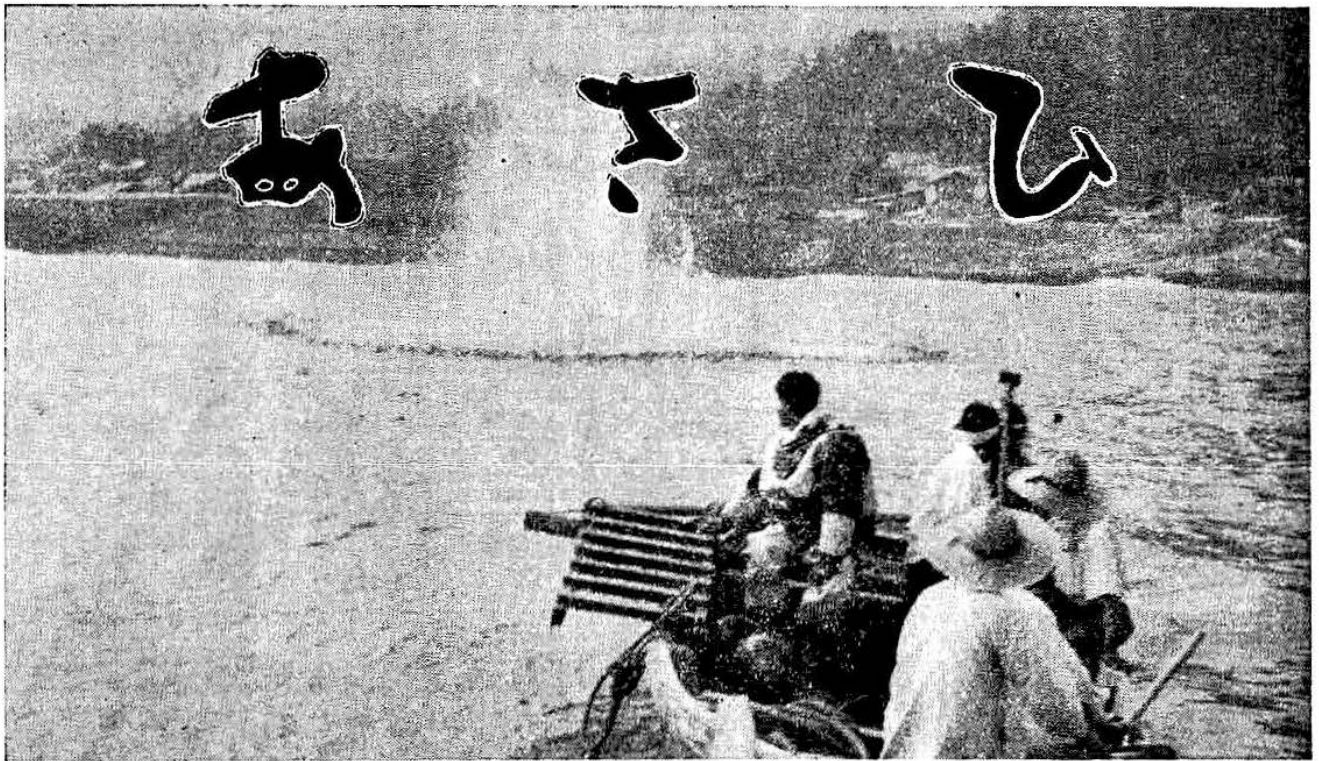


△わかめの浅海養殖岩面爆破△ 宮崎海岸



豊かな郷土を簡易保険の資金で

家族保険で明るい家庭生活を

簡保資金が四月早々に一兆円の大台を突破しました。

政府の財政資金として都道府県や市町村へ融資されている郵便局の簡易保険の資金は「みんなの積立金をみんなのために(地方還元)」という趣旨から地方自治団体へ低利で貸し付け、私たちの町の学校、病院、住宅、水道道路など公共事業の建設を助け、明るい町づくりに貢献しています。

朝日町でも昭和三十七年度中に融資された簡易保険の資金は、統合泊中学校建築、都市計画、簡易水道、公営住宅等の事業に対し、四八五〇万円となっており、従来融資されたものと合わせるとこの一年間に一億円以上の資金が私たちの町に使われております。

ところで簡易保険は終戦後に大量加入した契約がここ三、四年のうちに集中的に満期となるので、たくさん満期保険金を支払ったあとの資金の穴埋めが必要になってきました。地方融資の財源確保に簡易保険に加入しましょう。

こんな呼びかけで泊郵便局では「簡易保険資金一兆円突破記念家族保険新加入運動」を展開しております。

家族保険とは一枚の保険証書で家族全部を保障する、いわば家族ぐるみの簡易保険で、一家の主柱に万のことがあった場合、保険金を支払った後保険料を払い込まないで家族の保障を続けるという特色があり、加

入後に生まれた子どもには自動的に保険がつく(保険料はかわらない)という利点があるところから、新婚家庭、多子家庭にはうってつけの保険といえます。

郵便局では家族保険の利用申し込みをお待ちしています。

建設中の統合泊中学校

泊郵便局

泊病院

基準寝具実施

使用料一日四十三円

泊病院では六月一日より基準寝具を実施いたしました。基準寝具の実施とは、入院する場合寝具を持参する必要はなく、病院で準備してある寝具を使用していただくことです。包布、敷布等は一週間に一度洗たくしますので、快適で清潔なものを使用していただけます。従って入院の際は身のまわり品さえ持参していた

だけばよいこととなります。

寝具類の貸与による入院患者の費用は、一日四十三円の額をその保険加入の種類による自己負担と保険給付に分けられます。例えば、国民健康保険に加入の方は、一日四十三円の半額が自己負担、全額給付の保険に加入の方は、勿論負担額はありません。

重傷患者の附添人に対しても、寝具の貸与をいたしますが、この場合一日四十三円の費用を徴収することと、寝具の数にも限度がありますので入院患者が多く寝具不足の場合は貸与出来ないことがありますからあらかじめご了承ください。

基準寝具を実施いたしますと、寝具の持参入院を希望されても、それに応ずることは出来ませんので、ご了承ください。

泊病院基準寝具実施に一層のご協力をお願いいたします。

総合開発特委

管内踏査行わる

議事総合開発特別委員会(委員長酒井栄氏)の管内踏査が五月二十九日、三十日の両日にわたり行われました。

第一日は境川筋の水利状況、奥地の山林状況、宮崎海浜、自然博物館、城山、七重滝、笹川水利状況を、さらに三峰スキー場を経て池の原、奥石谷、荒戸谷、相の又の水利状況をみて日程を終了、第二日は小川上流の水利状況、奥地開発状況、山合川上流、棚山周辺を踏査する予定のところ、雨のため計画を変更し、棚山貯水地周辺をみて踏査を終了しました。

踏査の結果については一カ月以内に各委員の意見を集約されて当局に具申されるものと思われま

す。

宝庫を拓き財源を豊かにする 電源開発に理解を求めて (四)

所得倍増計画にもとづく電力需要の想定
ご存じの如く政府は昭和三十六年度当初において国民所得の倍増計画を立案発表いたしました。いわゆるわかれ国民経済の規模を今後およそ十年以内に実質価格で倍増するといふ目標をたてたわけであり、これらの経済指標を達成するためにはあらゆる産業の基礎をなす電力の供給が極めて重要な役割りを果たさねばならないことは今更申しあげてもありません。

すなわち電力は経済活動全般に関連する重要な基礎産業であり、しかも低廉な価格と安定した供給を堅持することは経済活動拡大のための不可欠の要件であります。従って正確な倍増計画を達成するためには正確な需要の把握と安定した電力供給計画の確立を図ることが必要であります。

ところが電力設備の増設に際しては計画としてから完成するまでに長期の期間と莫大な資金を必要とするので二三年先の需用の急増に対応して供給力の増加を図ると云った簡単なことは不可能で少くとも五年ないし十年の長期的な供給体制の整備を必要とします。政府においても長期的な電力需給の推移および政策の方向も至急検討する必要があります。

特に水力開発については常に個人補償公共補償等補償問題が起っている。このようなことは開発地点の規模が大きくなったこと、補償問題等のため開発が取り残されていた地点の多いことなどにより近年の開発地点は補償費の建設費に占める割合が増大の一途をたどり、経済上水力発電をますます困難ならしめております。

しかしながら政府の倍増計画における電力需用の伸びに対応するためには、第二表に示すように電力設備は著しく増大する。従ってそれらに要する資金は第三表に見られるとおり従来に比べ実に莫大な資金量となります。

毎年四、八〇〇億円の工事業要資金を調達することは電気事業にとつて極めて重要な課題であり、ここ数年は電力資金の十分な調達はなかなか困難と思われ、かなりの努力を必要とします。なお新規設備の発電原価が既設設備の発電原価を上まわることは最近の物価の上昇から見ても極めて当然でありまして、建設費の高い水力開発を一応見送って試算してみても昭和四十五年度における電力原価の水準は全国平均で現在の水準を二〇%内外上まわるものと思われ、四十五年度以降においては技術の進歩、電力需用増加の鈍化等により、総括原価の上昇は頭打ちし、緩慢な下げ傾向を辿るものと推察されます。国民所得倍増計画における電力長期計画の概要につきましましては以上申し述べましたとおりであります。電気事業がわが国経済の基幹産業であり、公益事業であることを考えますとき、電源開発の遂行は倍増計画達成の大前提とも云えるわけであり、しかしながら朝日計画のように数多くの問題が横たわっている中で、電気事業者の努力は勿論受け入れ側の地元をはじめとして関係各方面の理解と協力が強く望まれる所以があります。

最近問題になっている河川法の改正とかくの一町一村にこだわりの

第1表 所得倍増計画による業種別消費水準

項 目	勤 労 世 帯								農 家 世 帯								
	1人当り実質支出額						伸 び 率		1人当り実質支出額						伸 び 率		
	31~33年度 平均			4 5 年 度			45年度	基 準 年 次	31~33年度 平均			4 5 年 度			45年度	基 準 年 次	
	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比				金 額	構 成 比		金 額	構 成 比				
	円	%		円	%		%		円	%		円	%		%		%
食 住 光 ガ 被 雑	料 居 熱 ス 服 費	30.659	41.66		53.929	31.61	1.76	4.44	25.855	46.56		36.743	31.02	1.42	2.74		
		6.094	8.28		26.443	15.50	4.34	12.21	6.325	11.39		12.393	10.46	1.96	5.31		
		3.474	4.72		5.232	3.07	1.51	3.20	2.549	4.59		3.673	3.10	1.44	2.85		
		1.699	2.31		5.110	3.00	3.01	8.84	589	1.06		2.293	1.94	3.89	11.02		
		8.853	12.03		21.386	12.54	2.42	7.02	5.864	10.56		14.852	12.54	2.53	7.41		
費		24.514	33.31		63.606	37.28	2.59	7.61	14.938	26.90		50.783	42.88	3.40	9.87		
以上消費支出平均		73.593	100		170.596	100	2.32	6.68	55.531	100		118.444	100	2.13	6.01		

第2表 電力需要想定と過去の実績

項 目	電 力 需 要 (百万KWH)				構 成 比 率 (%)				年 平 均 増 加 率 (%)			
	26	34	45	55	26	34	45	55	26	34	45	55
	26	34	45	55	26	34	45	55	26	34	45	55
電 灯 (一般)	6.064	11.260	32.510	67.000	16.7	13.4	13.8	15.6	8.2	10.0	8.8	7.5
" (業務用)	1.315	2.460	8.200	16.900	3.6	2.9	3.5	3.9	8.2	11.6	10.1	7.5
大 口 事 業 電 力	29.053	70.689	194.290	346.100	79.7	83.7	82.9	80.5	11.9	9.6	7.8	5.9
計	36.432	84.509	235.000	430.000	100	100	100	100	11.1	9.7	8.1	6.2

第3表 電源開発所要資金 (単位億円)

項 目	年 度					
	34	35	45	36~45 (累計)	55	40~55 (累計)
水 力	1.042	1.116	1.355	12.984	850	8.500
火 力	856	823	2.260	16.427	3.110	24.300
小 計	1.898	1.939	3.615	29.411	3.960	32.800
送 変 電 其 他	971	1.484	2.200	18.700	2.510	20.900
合 計	2.869	3.423	5.815	48.111	6.470	53.700

納税にご協力を

六月二十日には町民税の徴税令が配付されます。

この町民税は今年三月みなさんから申告書の提出を求めましてそれを基礎として、税務署や公共職業安定所、その他関係機関の資料を調べた上で課税されているものです。

ただ残念なことは申告書を提出されて行くことは至極当然の処置であることと云わざるを得ない。(つづ)

議会副議長 酒 井 栄

これは税法の定めるところによるもので申告書未提出の方々には誠に申し訳ありませんが、毎年三月には申告書の提出を求めますのでこぞ申告して扶養控除をうけるようにしてください。

また納税には前納といつて報償金のつく有利な方法を利用していただきます。徴税令書を持参して役場の窓口で前納すると口頭で言うだけで済みます。

報償金は前納する月数によるもので、月一分の割合です。

町 民 税				固 定 資 産 税			
納 期	税 額	前 月	納 報 奨 金	納 期	税 額	前 月	納 報 奨 金
1 期 (6月)	2,500	—	—	1 期 (4月)	2,500	—	—
2 期 (8月)	2,500	1	25	2 期 (7月)	2,500	2	50
3 期 (10月)	2,500	3	75	3 期 (11月)	2,500	6	150
4 期 (1月)	2,500	6	150	4 期 (2月)	2,500	9	225

朝日町に理科教育センター設置

小中学校の理科教育振興目ざす

大家庄小学校に併設して

朝日町の小中学校の

る。

理科教育振興に資するため、地方教育行政の組織に関する法律の規定に基づき理科教育センターが設置され、大家庄小学校に併設して本年四月一日から次の陣容で発足しました。

△理科教育センター運営委員
泊中学校長 湯田 清
山崎小学校長 森群 平
小川中教頭 上村益治
笹川小 館 貞雄
学教研理科部大森行雄
教育長代理 平坂義一
△理科センター職員
所長 林得明(兼任)
所員 長津嘉尾(専任)

△野外研究、特に小川を中心とした地域の生物、地学の総合的研究、指導内容の整備を図る。
△センター研修員の各校訪問
専任主事及び研修員が各校を訪問し理科室及び戸外環境の整備、器具器材の取扱等一般理科教育の相談に應ずる。

△その他必要な事業
昭和二十九年八月一日に朝日町が誕生して今年で九年目を迎え、在朝日町出身者が集って、郷土を語り合い、お互いが自己の隆生の幸を得るために東京朝日会が発足することになりました。

東京朝日会 発足

一、目的 小中学校の理科教材に必要な実験、観察器具機材の工作に必要な施設設備を設け、教材研究と各学校における設備、備品の充実活用の研究を行ない、併せて教材器具の修理製作を行なう。これらの理科教育の実践的研究を通じて、朝日町小中学校の科学、技術教育の向上を図

所員 大森 行雄(兼任研修員)
永井雄次郎()
水島 吉男()
井上 武智()
坂井 一郎()
長崎 光男()
笹川寿美枝()
中島 和子()
水見 八郎(教委、兼任)
なお実践内容として次の諸項が挙げられていきます。

肺結核の予防について

年に一度は健診を

化学療法の進歩とマスイ学の発展とともに肺外科の長足な進歩によつて肺結核による死亡率が大変減少していることはご存じのとおりであります。結核の場合最も知っていただきたいことは感染即発病ではないことと、他の伝染病と異つて感染したから必ず肺病になるというものではないので

国保だより

むしろ感染した人のほんの一部のみが医者の門をくぐるようになるので大部分の人たちは感染しながら何らの自覚症状を呈することなく過ごしているのです。役場や保健所は毎年定期の検診を行つてツベルクリン陽転者の発見につとめ、BCGの接種を行い、人工免疫の獲得とともにこれらの人々の健康管理に当たっているのですが、今一歩進めてその症状および積極的な予防法について述べて参考に供したいと思ひます。

肺結核の自覚症状は軽い場合は全く健康診断のレントゲン写真によつてのみ発見される。また一面自覚症状としては咳、喀痰、呼吸困難、血痰等があり、原因不明の微熱、体重の減少、全身の倦怠はまず結核の初期症状といえる。

予防法としては年一回の健康診断は必ず受けるほか、晴天の日に窓および戸を開き、新しい空気、直射日光のあたることばが、参加者の二十人の若い力大合唱、ラジオ体操のあと演技にうつった。保育所児童の遊戯小中学生の集団マージム、泊中学校女子生徒の体育ダンスなど盛会裡のうちに無事終了した。

——堂々と入場行進——



を入れ、布団および寝具の日光消毒等を行うように努める。

また家庭内に結核性疾患のある家庭は、三ヶ月に一回程度のレントゲン透視、医師の健康診断を受け、食器、寝具の消毒および日光消毒を行うこと。時折なか／＼なおりにくい感冒を引かれる方もレントゲン透視等を受けることがよいと思ひます。

町営プール 募金にご協力を

募金にご協力を

朝日町営プール建設については、町民各位のご尽力により募金計画もでき、先般工事入札が行われ、小川建設工業KKが落札、五月十八日に起行式も行つて八月上旬完成を目標に日夜工事が施行されております。

募金計画と収納状況は次のとおりであります。期成同盟会では一日も早く計画を完了のうえ、町に寄附採納し、立派に工事完成をみたく、町民各位の一層のご協力をお願い申しあげます。

建設資金の一般寄附金につきましては、着々と目標達成に邁進しており泊小学校PTA(七二三、三八六円)泊中学校PTA(六八〇、〇〇〇円)特志寄附金(一二五、〇〇〇円)泊二区(本町・中町・上町・東草野・清水町・幸町・弥生町・大屋)宮崎地区・笹川地区がすでに収納されております。

泊一区は六月中旬に(一部収納)、泊三区は八月中旬に、それぞれ収納の予定であります。なお他の地区でも着々募金が進められております。

町民プール建設期成同盟会

日本体操祭朝日地区大会行わる

……2,000人参加で盛大に……

日本体操祭朝日地区第二回大会は五月二十六日(日)午前十時から小丸山グラウンドで、町内の小学生(五、六年生)中学生(二、三年生)青年団員、婦人会員、保育所児童など約二千人が参加して開かれた。



家畜の伝染病を 防ぎましょう

家畜の伝染病は飼育規模の小さかった時は不十分な予防措置でも、伝染病の発生を見ることが少く、被害も比較的軽くすみましたが、多頭羽飼育が行われている今日の状態では徹底した予防措置をとらない限り伝染病の侵入を防ぐことは困難です。現在法定家畜伝染病として二十八種の病気が指定されていますが、このなかで特に流行性感冒(牛)、流行性脳炎(牛、馬、めん羊、山羊、豚)、結核病(牛、山羊)、豚コレラ(豚)、豚丹毒(豚)ひな白痢(鶏、あひる)は発生が多くみられ被害が大きくなっています。

一、清掃と消毒
清掃は病原体の繁殖を防ぐ上に最も重要な作業です。家畜の糞便は常に一カ所に堆積酸酵させて施肥に用いることです。糞尿には種々の細菌や寄生虫卵が混入しているこの処理の適否は病気の発生蔓延に重大な関係があるので、特に糞尿が流出した場合は伝染病の発生が拡大するおそれが多いことを知らなければなりません。また清掃は消毒の前程でもありますが不潔なもの、糞尿で汚れているものなどには消毒薬の効果も十分期待できないからです。次に消毒と云えば一般に消毒薬を撒布することのようには考えられがちですが、加熱消毒は最も簡単な消毒方法です。たとえば病原細菌は一般に、六二〜六五度の湿熱で三〇分正確に加熱すれば死滅します。ただ炭素菌

や破傷菌のように芽胞を形成するものでは焼却することが最も安全です。

二、予防接種

多くの伝染病に対しては予防ワクチン接種の実施が行なわれていますが、この予防接種の完全なる実施が一番大切です。予防接種を受けることによって、一定の病気に対する抵抗力が体内に造成され、病原体が体内に侵入しても増殖を抑制したりして、個体を病原体の侵蝕から守ることが出来ます。

朝日農業改良普及所

ブラジルに 北陸村建設

富山県では石川県、福井県と話し合ってブラジルに北陸村を建設します。新しい天地に精一杯に働いてみたいという人にはこのように海外移住の道があります。

北陸村の土地は、日本海外移住振興株式会社という日本政府が出資している会社と外務省の指導のもとに昭和三十七年六月に入手した土地で、約七六〇町歩あって、六〇〇戸の農家に配分する予定です。

新天地に夢を

北陸村はサンパウロ州の海岸山脈の後ろにあたる山のふもとに拡がっているところで、地域の約三分の二は再生林の状態であり、約三分の一は灌木林約残りの三分は現在畑地および放牧地となっています。年二回の気温は一八、五度前後(鹿児島より三度暖い)で空気も乾燥しており、年間雨量は一、二〇〇〜一、三〇〇ミリです。

- 土地代頭金 三万円
- (a)生活費 一〇万円
- (b)住宅及び営業資金 二二万円
- (c)その他の経費 四万三千元
- 入植条件について
入植者には一戸分平均一二町歩に区画したものを分譲する。
- 北陸村の営農のすめかた
トマト、ピーマン等の蔬菜栽培やブドウ、桃、柿等の果樹類に養鶏を組合わせた有果樹園芸の営農形態で、まず入植第一期(五カ年)計画(詳細略)なお五年目(第一期終了時八〇万円の貯蓄できる見込み)の資本の蓄積によって第二期の計画に移る。

中旬〜八月中旬で出発は申し込みから五カ月かかります。なお詳細については役場産業課または県海外協会(県庁農地開拓課内)へ問い合わせてください。

精神薄弱者の職親募集

民生課では精神薄弱者の職親を募集しています。これは精神薄弱者の自立更生をはかるため、一定期間職親にあずけ、生活指導および技能習得訓練を行うこととによって就職に必要な素地を与えるとともに、雇用の促進と職場における定着性を高めることを目的とするものです。

国鉄から 列車の安全を守ろう

国鉄ではみなさんが安全で快適な旅行ができますよう、列車の安全を守る運動を行っています。列車や尊い人命を危険な事故から守るため、次のことにご協力ください。△お子さんを線路附近で遊ばせないようにしましょう。△線路や駅構内に立ち入らないようにしましょう。△踏切で警報器が鳴っているときは絶対に渡らないようにしましょう。△踏切で汽車が見えたら渡らずにズット離れて待ちましょう。

尺貫目盛付計量器は 早く切りかえよう

昭和三十七年一月よりメートル系以外の単位目盛付計量器は使用禁止になっております。たとえ貫と貳と両方の目盛があっても使用はできません。すべて計量器はメートルのもの他は使用禁止になっております。

去る三月、県計量取締官が県下の使用状況を調査いたしました結果は、朝日町では両単位目盛(尺貫、メートル)の計量器を使用している商店が意外に多く、こんどの調査中最も不良であったと、まことに不名誉な格付けをされました。メートル法完全切替えになった今日いまだ尺貫系目盛の計量器使用は時代の逆行を意味する以外のなにものでもないことを悟られ違反として摘発されないよう早急に切り替えられるようお知らせいたします。

全国計量器販賣業者連合会理事
計量士 中野啓三郎

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 両越印刷
送料 六円
定価 六円